

### 第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策

指定管理者制度導入施設の第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策（令和7年度）

#### 1 概要

施設名	桃山公園	所管部室課名	土木部公園みどり室
実施日時	第1回:令和7年11月14日(金曜日)14:50~16:30 第2回:令和7年12月17日(水曜日)17:00~17:30	実施場所	吹田市総合防災センター 7階第1会議室

#### 2 評価等の内容及び対応策

No.	助言等の内容	対応策	評価項目
1	樹木管理について、ラクウショウ等が過密状態で、下枝に光が十分に当たっていないことから、葉がつかず、枯れている枝が複数あり、今後落枝、根上がり等の事故も考えられることから、間引きが必要です。 また、ニセアカシア、クビアカツヤカミキリなどの外来種対策も含めて、樹木医等の専門家の意見を踏まえながら、維持管理計画等を市民と協力しながら、策定ください。	現在、市民協働により実施している樹木調査結果も踏まえて、公園協議会でラクウショウの間引きと剪定の計画について、専門家意見を踏まえ、検討します。 外来種について、巡視や市民からの情報収集等、状況把握に努め、HPなどで情報発信します。 また、防除策については、構成企業の川西造園の専門家によるアドバイスをもらい対応方法について検討します。	2 管理運営内容 (1)維持管理 ア 施設の保守管理を適切に行い、又は市に補修・修繕の必要箇所を報告している。
2	竹林について、千里の原風景を将来に継承するため、弱っている竹林の再生のための各種方策について、樹木医等の専門家の意見を踏まえ、市民ボランティアとともに、活動を期待します。また、竹を活用したワークショップ等を企画し、竹について市民に興味を持ってもらい、公園の利用促進につなげることも検討されたい。	竹林の再生のための方策として、令和6年度末に専門家による現状確認を頂き、実験的に施肥等を行い観察していましたが、結果的には効果がまだ確認できないので、令和8年度初頭に範囲を拡大し施肥等を実施します。 また、継続的に年1回専門家にもてもらい、アドバイスをもらいます。 今後は、竹を使った工芸などをパークセンターで実験的に展示し、興味を持ってもらいワークショップなど企画・実施できるよう努めます。	2 管理運営内容 (1)維持管理 ア 施設の保守管理を適切に行い、又は市に補修・修繕の必要箇所を報告している。
3	施設の設置目的に合致した主催事業について、地域連携を重視し、次世代につなぐ取組として、例えば、「秋祭り」虫好きの子供を呼び込むイベント」木陰を利用したイベント」竹を活用したワークショップ、竹細工、竹ベンチ、竹灯笼等」竹チップの活用」「もちつきイベント」等、桃山公園の特性を活かした様々な取組みに努めてください。	地域連携により、公園での多世代利用を促進できるような取組みを増やせるように努めます。 具体的には、竹林の竹を利用して夏祭り等で竹灯笼を作成したり、虫好きの子供向けに公園にいる虫に関する情報をパークセンターにて展示等検討します。 また、公園内で虫取りゾーンの区画を設けることも検討します。	2 管理運営内容 (2)事業運営 イ 施設の設置目的に合致した主催事業(委託事業)及び施設の効用を高める自主事業を適切に実施している。
4	公園の窓口等業務について、接遇面での改善に向け、引続き、マニュアルの充実、研修の見直し等を継続し、利用者満足度を向上させる取組みを行ってください。	接遇マニュアルを適宜アップデートし、社内で礼節・接遇マナー研修を定期的に行うだけでなく、昨年度実施した、ロールプレイング形式の研修を現場にてヒアリング等しながら利用者目線で取組を継続できるように努めます。	2 管理運営内容 (2)事業運営 ア 公園の窓口等業務を迅速かつ適切に行っている。
5	施設の管理運営に係る経営状況について、物価や最低賃金の上昇について、営業努力では困難な状況に見受けられるため、市と協議してください。 大規模修繕、改修については、市と協議し、計画的な修繕計画を検討し、予防保全に努めてください。	昨今の急激な物価上昇による指定管理者の費用負担増について、継続的に市と協議してまいります。修繕費に関しても物価の高騰、人件費の増加について、外部委託を見直し等、さらなる営業努力、内製化に努めます。	4 サービス提供の継続性及び安定性(1)施設の管理運営に係る経営状況 ア 施設の管理運営に係る経営状況が健全であり、継続的かつ安定的なサービス提供が可能である。